

和歌山県議会IR議題「否決」

「反対22」（賛成18） 「カジノはあかん」通じた



認定の舞台に進めず

「カジノはあかん」とするみなさんが固唾を呑んで迎えた4月20日。臨時県議会の最終本会議は、カジノIR計画の認定を国に申請することの承認を求める議案を「反対22」（賛成18）で「否決」しました。「カジノはあかん」とする多くの県民の声が県議会に通じた瞬間でした。

仁坂吉伸・和歌山県 最終期限が4月28日に知事が肝いりですすめてきたカジノを含む和歌山IR。国に区画整備計画の認定申請するに、同月14日～20日の日程で臨時議会を招集。

議会は、14日に開催し、翌日は議案調査で休会。16、17日の土日を挟んで、18日からカジノIR計画申請をめぐる本会議質疑や各種委員会審議が行われ、20日午後には本会議採決が行われ

します。「カジノはあかん」と願う県民の方々は、14日の初日から多数の方が議会の傍聴に駆け付け審議の行方を見守るとともに、プラスターをもった方々が県庁前周辺でアピールしている姿が見受けられ、昼休み時間帯には「県議会は否決を」という声が議会に届けとばかりに響かせていました。

本会議最終日の採決は午後。森礼子議長がすすめる午後の本会議は、まず3つの委員

ました。18日の議会でも仁坂知事は、「計画は国の審査に耐える。申請しても和歌山の名折れにはならない」と自信に満ちた強気の説明を

会の結果報告からはじまります。総務委員会と経済警察委員会は「適当」と報告。IR対策特別委員会は「賛成少数」と報告。無記名投票で行われた採決は、「反対22票」「賛成18票」であった結果、反対多数で「否決」と議長が宣言します。

議会から「否決」のレッドカードを突きつけられて、仁坂県政が掲げたIR整備計画が、国の認定舞台に進めず、退場を余儀なくされた瞬間です。また、「カジノはあかん」と望む多くの県民の声が県議会に通じた瞬間となりました。

今後は、カジノIRに頼らない県政へと、舵の転換が求められます。



和歌山I-R「否決」に沈む

「否決」の深層

仁坂吉伸知事が肝いりで推進してきた和歌山カジノI-R。県議会の「否決」に沈みました。仁坂県政を支える与党議員が多数を占め、I-R誘致推進議員が多数を占めた県議会に吹いた逆風に耐えられず沈没。逆風「否決」の深層を語ります。

今回から、阪谷良昇編集部委員が交代します。松井和夫氏にバトンタッチしました。



松井 松井です。よろしくお願いします。早速ですが、和歌山カジノI-R。県議会の「否決」に沈みました。

迫間 ほんと。驚きました。保守王国といわれ、しかも、I-R推進議員が多数を占めていた県議会です。正直、否決はない、と思っていますでした。

松井 畑中さんは、溜飲

を下げたわけではありませんか。

畑中 分かりますか。

松井 分かりますよ。前に負けた知事選挙の公約のカジノ反対に、その後も反対運動をされていきましたから。

迫間 カジノの住民説明会で、知事から直接「選挙に勝ってみろ」と言われた人があるとかで、悔しい思いをされていきました。

畑中 粘り強く闘ってこられたみなさんのおかげです。

与党 党議拘束かけず 賛否割れる

迫間 とすると、党議拘束という縛りがかからなかった。

げです。「カジノはあかん」の声が議会を動かしました。

迫間 カジノ誘致に反対を表明していた議員としては、

共産党の奥村（和歌山市）さん、楠本（御坊市）さん、杉山（紀ノ川市）さん、高田（西牟婁郡）さんの4人だけだった。

畑中 いやいや、維新の林（和歌山市）さんも反対でした。

松井 それでも5人。反対が22人というから、推進議員17人が反対したことになります。



松井 仁坂知事さんのご威光に、陰りが生じているのでしょうか。

畑中 面目だって、丸つぶれでしょう。

迫間 秋にある知事選挙に関係して対立があるような噂があります。

畑中 そういう噂のあることも承知していますが、どうしても成立させたい議案であれば対立は生じないようにするでしょう。

松井 I-Rは、もはや党議拘束かけて、賛成すべきことではなくなってきた。

畑中 だって、横浜市長選挙では、元閣僚の小此木八郎氏がI-R反対を打ち出していました。

迫間 菅さん、当時の総理大臣もそれを支援していました。

松井 誘致をすすめた当時現職の林文子さんは見る影もなかった程でした。

畑中 反対の声が大きけ



県公募に応募したクレアベスト計画案の全景(駐車場がない)

ればそういうことが起きるんですよ。

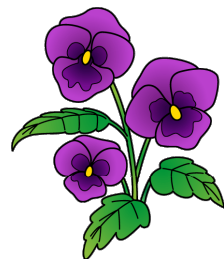
松井 インバウンドで儲ける環境ではないし、地上型力ジノールで儲ける環境も後退した、という理解も広がりました。

迫間 住民運動が潮目と化した、といえるのでしょうか。

松井 和歌山市の住民投票に集まった2万39人の署名と運動の力が影響を与えた可能性は否定できませんよ。

迫間 ですね。

運営事業者選定のつまずき 最後まで尾を引く



松井 潮目でいうと、運営事業者選定でつまずいたからではないでしょうか。そのつまずきが最後まで尾を引いた、ということだと思われまます。

迫間 サンシティの撤退のこと、ですか。

松井 選定で、2者しかなかった応募者のうちサンシティが、表の理由はコロナ等

の影響としていました、それが否定できずに撤退しました。確か、昨年5月の出来事だったですよ。

松井 そうです。

迫間 正体とは。

松井 事業者のトップがマフィアであり、違法なマネーロンダリングを力ジノで行っていたことが明るみになったことです(詳細はニュース144号、147号に掲載：市民オンブズマンわかやまHP)。

松井 その後、そのトップは逮捕されました。

迫間 マフィアに狙われ、危ないなあ、という印象が残るのに、手続きはそのままにしたと。

松井 そう。表の理由のコロナ禍の影響だけでも、事業をすすめる環境にないという印象を与えました。

松井 そういえますね。

松井 また、県は、クレアベストを選んだことで、選ぶしかない事業者を選んだ、という印象がつかまとうことになりました。

松井 応募計画案の選定委員会の点数が656点で、サンシティの720点と比べると低く悪すぎでした。

迫間 競争に勝つ気があったのか疑問が残る点数といえました。それに、進出意欲でも、本気度があるとは写らなかった。

松井 そもそも投資会社

だった。

松井 そういう不安な事業者と頼りない計画案に県は、計画のブラッシュアップを求めましたが……。

迫間 選定に生じた疑問や不安の解消には至らなかったと。

松井 そればかりか、クレアベストを選んだ県の信頼が回復しなかった、といえます。

松井 また、誘致推進の県議らの中で一部に、サンシティを押し議員と、クレアベストを押し議員があった、といわれています。

松井 それは、党議拘束がかからない要因になりますよ。

迫間 サンシティ撤退をうけて松井さんは、県がキッパリ断念するべきだと言っていました。

松井 状況を考えれば、引き時、潮目と考えら

れましたから。

強い逆風 I R対策特別委員会から



迫間 でもそれだけで誘致推進議員17人も「反対」に回ったというにはムリがあると思われ

松井 同感です。松井 県に強い逆風が顕著に表れたのは、I R



国に申請するとした和歌山I R施設です。

対策特別委員会です。昨年11月19日開催の。松井 県がすると決めていた計画案のパブコメや公聴会などについて、県が住民説明会だけでもさせて欲しいと言うの

に、つまびらかにしないままでは認めないとする決議をしました。

迫間 松中さんが、1月の座談会で、委員会が「ブレイキの役割を果たした」、と言っていたそうですね。

松中 そうです。議長を除く委員15人全員一致でしたよ。

松井 発議が、自民党議員の吉井（有田郡）さんだった。

迫間 カジノに反対する共産党は楠本さんと高田さんの2人、そうすると残る13人はI R推進議員なのに。

松中 そこですよ。通常はあり得ないと思われる決議です。でも、その委員会の質疑からすると理にかなっていた発議でした。

迫間 問題点が浮き彫りになったと。

松中 県が確定的なことはいえないことを前提

に、この時、カジノ事業者としてシーザーズが加わるとか、施設名が「ザ・パシフィック」になるとか。

迫間 そういわれれば、クレアベストの日本会社の代表者も交代していた。

松井 それは、エディ・ウーさんという方。でも、県が基本協定を結んだその日に交代していたことが問題になりました。

松中 事業運営主体が明らかにされず、財政基盤や資金計画の裏付けも不透明でした。

松井 資金計画の裏付けなどは最後まで不透明でした。

迫間 そういえば、県の説明を「蜚気楼」と評し、言い得て妙、名言とかいう人もありました。

松中 それを言った議員は、浦口（和歌山市）

さんです。「資金計画」などの裏付けは最後まで蜚気楼といえますが、その言葉は使わないようにしています。

迫間 どうしてですか。

松井 その議員、最後の採決で反対しなかったからですよね。

迫間 それは言行不一致。

松中 そう思うでしょ。良いことを言うつと株が上がっていただけに失望も大きいから。

迫間 1月の座談会は、公明党議員の中（和歌山市）さんの発言にも注目していました。

松中 「カジノは下火で、大きな施設は時代に逆行しており、無理なことはせんでもええんちゃうかな」などと言われていました。

迫間 中さんは最後の採決は。

松井 反対されました。迫間 それは男前。

畑中 私の中では株を上げています。口先だけということもあり得るかな、と疑ったりしたことを恥じています。



「反対」投じられた議員さんに ありがとう

松井 続いて行われた今年2月開催の特別委員会は、パブコメや公聴会を了承しましたね。

畑中 その時は、とんでもない、などと非難する気持ちを抱きました

が、今では、パブコメや公聴会があつてよかったと思っています。

迫間 県民の多くが反対で、賛成でも計画には反対する声が多かった、ですね。

松井 畑中さんも公述人として意見を述べられていました。

畑中 「仁坂知事さんや県に、いま求められているのは立ち止まり引

き返す勇気だ」ということを言いました。

松井 最終採決が、そうした県民の声が冷めないうちだったことも幸いしたかも。

畑中 それもあるでしょう。2月の特別委員会が、前回に続いて資金計画の不透明な部分に納得せず、引き続いて、確かな資金計画を強く求めていたことも大きいです。

迫間 最終4月の臨時議会中に開催された特別委員会は、結局、「反対10」「賛成5」ということで、反対は賛成の倍に及びました。

畑中 この3頁にカジノIRの応募時の全景、4頁に国への申請版の全景を掲載しました。が、国申請版の全景には応募時の影も形もありません。

松井 応募の時の影も形もないのでは、何のための選定だったのか、選定段階では競争して勝つ気がなかったといえますね。

迫間 そういふ不信が最後まで拭えなかった。

松井 そういふことからすると、潮目は、やっぱり運営事業者選定のつまずき、といえますか。

畑中 つまずきも必然のうちよつに思いますが、今回は、採決で「反対」を投じられた議員さんらに「ありがとう」と率直に感謝申し上げます。

おしまい。

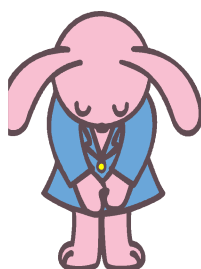
新年度会費 納入のお願い

新年度になりましたので、会費のご請求をさせていただきます。

会費は1口2500円ですが、できる限り複数口のご送金にご協力をお願いします。募金も歓迎します。

ご送金は、左記の銀行口座もしくは、同封の郵便振替にてお送り下さい。

なお、領収書の発行を省かせていただいておりますので、ご送金された控えをご保管下さい。領収証の必要な方はお手数かけますが事務局までご連絡下さい。



《ご送金先》

☆きのくに信用金庫本店

普通預金 No.0419585

名義 市民オンブズマンわかやま

事務局長 畑中正好

☆郵便局 口座番号009907-11007

加入者名 市民オンブズマンわかやま

不作為の違法 相次いで提訴

審査会に諮問せず いたずらに裁決を遅延

和歌山市

市長等の公用メール 不服審査請求で

和歌山市を相手に、3月31日、和歌山地裁に不作為の違法を問い、その違法行為による慰謝料支払を求める国賠請求等の訴訟を提起しました。

不作為の違法を問う対象は、公文書の不開示処分に対する不服審査請求における裁決の遅延行為です。不開示公文書は、尾花市長や副市長などの公用メール。尾花市長は、同年5月28日、憲法21条2項の通信の秘密を侵害するので存否自体を答えられないとして全部不開示に。この処分不服を申し立てる審査請求を同年8月30日に行い今日に至ります。

情報公開条例は、原則、市情報公開・個人情報保護審査会に速やかに諮問



訴状提出に田辺裁判所に向かう畑中事務局長

田辺市

紀州のドンファン関連 資料 不服審査請求で

訴訟提起時点で審査請求後7ヵ月を経過している

し、その答申を尊重して審査請求の裁決をしなればならない、と規定しています。

なのに、尾花市長は、

のに審査会に諮問を行わずいたずらに裁決を遅延させています。
この遅延行為が不作為の違法に当たるとするとともに、違法な遅延による慰謝料として10万円の支払を求めています。また、同訴訟は不開示の取り消しも求めています。



田辺市でも、田辺市を相手に、4月27日、和地裁田辺支部に不作為の違法を問い、その違法行為による慰謝料の支払を求める国賠請求の訴訟を提起しました。

不作為の違法を問う対象は、公文書の不開示処分に対する不服審査請求における裁決の遅延行為。不開示は、紀州のドンファンこと故野崎幸助

氏の遺産に係る2回請求分の資料。真砂市長の非開示決定に対し、2020年9月と同年10月に不服審査請求を行っています。

市の情報公開条例等では、原則、市情報公開・個人情報保護審査会に、必要な手続き終了後、速やかに諮問しなければならない、と定めています。

なのに、必要な手続きが終了し、訴訟提起時点で審査請求後1年7ヵ月と同6ヵ月経過しているのに真砂市長は審査会に諮問を行わずいたずらに裁決を遅延させています。

この遅延行為が不作為の違法に当たるとするとともに、違法な遅延による慰謝料として計20万円の支払を求めています。



第26回定期総会開催

情報公開の促進活動を評価 若い世代の世話人確保が課題

和歌山県 同市 田辺市 古座川町の

情報公開不服審査請求の取組を報告

当会は4月に、第26回定期総会を開催しました。杉山誠一氏を進行役にはじまった総会は、阪本康文代表があいさつを述べ、畑中正好事務局長が提案報告を一括して行い討論を経て、提案議案のすべてを採択。閉会のあいさつを松井一郎代表が述べて終了しました。

総会は、まず、新型コロナウイルス感染症で開催が危ぶまれる中、開催できたことを喜びました。



昨年取り組んだ活動として、情報公開請求の開示の開示を求める不服審査請求を和歌山県、和歌山市、古座川町で行っている取り組みを報告。和歌山県では、カジノIRに関して、カジノ事業者を決める県の公募に応募した提案書などの不開示に対する審査請求を行っていること。県の弁明書に対する反論書が提出を行い、現在、審査会への諮問通知を待っている段階とします。

和歌山市では、公用メー
ルが不開示で、憲法21
条2項の通信の秘密を侵
害するということを理由
に、存否自体の回答を拒
否。で、不服審査請求を
行う。その後、市は、審
査会に諮問をしないの
で、裁判提訴に及んだと
します（詳細P2に掲載）。
田辺市では、2件の不
服審査請求を行って
いて、うち1件は、新庁舎
移転に関するもの。20
20年5月に審査請求。
その1年4ヵ月後の昨年
9月、①旧決定を取り消
し、②審査会への諮問を
取り消し、③審査請求を
却下し、④一部非開示の
新決定がなされたこと
に対し、改めて、審査請
求をしているとします。
なお、旧決定取り消しの理

由は、「公文書の件名、不開示箇所の根拠規定及び、その理由を明

記すべきと判断したため」ですが、旧決定と新決定の不開示の部分はまったく同一であり新たに開示された部分がないとい

います。
残りの1件は、紀州のドンファンこと故野崎幸助氏の遺産に関する資料。20年4月と同5月に請求を行った2件が対象とします（P2に掲載）。

古座川町ではすでに、開示を求めた職員決裁印や議員名を開示すべきという答申があったとしました。

最後に、新年度も活動を旺盛に展開することを呼び掛けました。



当面の予定

5月17日 PM2:00～

ニュース発送作業日

5月26日 PM6:00～

全員会議

6月28日 PM2:00～

編集会議

7月1日 紀州のドンファン

変更決定審査請求期限

7月19日 PM2:00～

ニュース発送作業日

7月28日 PM6:00～

全員会議



次回会員会議のご案内

日時 5月26日(木)午後6時～

場所 和歌山合同法律事務所会議室

こぞってご参加下さい。